

(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

基本目標



夢を持ち生きる力を育てる

学校教育課

確かな学力の育成

子ども一人ひとりを大切にし、個々の教育的ニーズに応じた適時適切な教育を推進するために、幼稚園・保育園、小・中学校の連携を密にしながら、義務教育9年間を見通して特別支援教育の視点を基盤に全ての教育活動を展開します。

また、各学校の特色を生かしながら質の高い授業を目指して授業改善に取り組むことにより、社会の中で生きて働く「知識・技能」を身につけ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」を育成しながら、自らの学びを人生や社会づくりに生かそうとする「学びに向かう力」を涵養します。

《施策》

- 1 すこやかスクール充実事業 ～特別支援教育充実事業～
 - (1) すこやか巡回相談
全小中学校で実施：個別検査 92 人実施（11 月現在）
 - (2) すこやかスクール支援員の配置
小学校 10 校とアウトースクールに計 17 名配置
 - (3) 特別支援教育研修会
特別支援教育スキルアップ講座 2 回実施、延べ 70 人参加
- 2 学力ジャンプアップ事業
 - (1) 校内研究推進支援事業
研究授業の事前・事後研究会支援、授業づくりについての指導主事による訪問指導を計 82 回実施
 - (2) デジタル教科書整備事業
市内全小学校・全学年へ、算数科及び理科のデジタル教科書を整備して授業を実施

豊かな心と健やかな体の育成

学校教育課

「市いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止対策を推進し、「いじめをしない、させない学校づくり」を目指すとともに、生徒指導に関する諸問題の早期発見・早期対応により、子どもが自尊感情を高めながら、生き生きと学校生活を送ることができる学校づくりを行います。

また、地域との緊密な連携のもと、「人、もの、こと、自然、文化」などの地域の魅力に触れる多様な体験を充実させ、子どもの郷土への

愛着と誇りをはぐくみ、社会参加に向けた教育支援を推進します。

さらに、子どもの主体的なスポーツ参加を推進し、体力の増進とスポーツに親しむ心情を涵養し、将来、自立した市民として活躍できる心身ともに健康でたくましい子どもの育成を目指します。

《施策》

- 1 いじめ防止スクールライフ充実支援事業
 - (1) 学級集団アセスメント検査実施
小学校2年生～中学校3年生までの全通常学級で実施
 - (2) すこやかスクール相談員の配置
各中学校と学校教育課に5名配置（平均5～6名/日対応）
- 2 ひと・もの・ことを活用した学校づくり体制整備事業
『ふるさと大好きプロジェクト』
学校と地域の学習素材（ひと・もの・こと）を繋ぐ地域連携コーディネーター
地域を教材とした学習の支援を行う外部講師（歴史学習・自然観察指導）
- 3 学校スポーツ・文化振興事業
小学校陸上記録会・中学校各種大会出場者への補助



2 社会の発展を牽引する人材を育てる

英語教育の推進

学校教育課

グローバル化が進む社会において、人権尊重の視点を大切にしながら、豊かな国際感覚と多様な文化を柔軟に理解する心情を育むとともに、積極的に外国語を用いて日本やふるさと天童の良さを適切に発信することができるコミュニケーション能力を養うことを目指し、英語教育の充実を推進します。

特に、小学校と中学校の連携を図りながら、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4つの技能をバランス良く伸ばし、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力と主体的な姿勢を養います。

《施策》

- 1 英語教育パワーアップ事業
 - (1) ALTの配置
小・中学校合わせて8名の配置。小学校3・4年生の外国語活動と小学校5年生以上の英語の授業の補助
 - (2) 実用英語技能検定受験推進事業
令和2年10月2日実施 442名受検（42.1%）
 - (3) 小学校英語4技能検定実施

3

生涯にわたる学びを支援する

生涯学習・社会教育の推進

生涯学習課

市民一人ひとりが生涯にわたって充実した学習活動を行い豊かな人生を創造できるよう、大学との連携による学習活動を展開し学習機会の充実を図るとともに、学校や家庭、地域と連携した行事の開催など多世代交流による学習活動を推進します。

また、生涯学習の場となる図書館などの施設をより一層充実させ、学習活動に対する支援や情報の提供を行います。

社会教育については、市民がそれぞれの価値観やライフステージに応じた学習活動を主体的に行うことができるよう、幅広い世代が気軽に集い交流できる場である市立公民館の利用拡大を図るとともに、社会情勢の変化や利用者のニーズに合わせて市立公民館の整備を進めます。

また、社会教育において重要な役割を担う社会教育関係団体の活性化を図るとともに、市民自らが課題を見つけ解決を図ることを目的とした地域づくり委員会活動を推進します。

《施策》

《生涯学習課の推進》

1 明治大学・天童市連携講座の実施

- (1) てんどう笑顔塾 中止
- (2) てんどう未来塾 中止
- (3) てんどう女性塾 中止

2 市立図書館の利用推進

- (1) 4月4日から5月31日まで臨時休館
- (2) 新1年生バック事業（325人利用登録）
- (3) 図書館・学校図書館コラボスタンプラリーの実施
（11月3日～12月20日）
- (4) その他事業等

ボランティア団体による読み聞かせ、怪談落語会、こどもまつり、本の交換市・リサイクル市、つちだよしはる絵本原画展、文化祭、オープンカフェ等

3 市民プラザの生涯学習の振興

- (1) 4月4日から5月31日まで臨時休館
- (2) 生涯学習講座の開催
117講座 8,807人受講（11月末現在）

4 学習支援室（ちえふる）の利用推進 3,464人（11月末現在）

- 5 高原の里交流施設「ぼんぼこ」
 - (1) ぼんぼこ塾 塾生34人 全8講座
5講座（1講座中止）終了し、延べ119人受講
 - (2) ぼんぼこ里山コンサート 中止
 - (3) 維持・管理 施設の給水管等改修工事等

《社会教育の推進》

- 1 市立公民館の事業等
公民館フェスティバルや各種教室等の開催を通し、各社会教育団体間での親睦等が図られた。（各地域レクリエーション大会等は中止）
- 2 市立公民館の管理・運営
 - (1) 市立公民館等の施設整備
 - ア 施設整備
津山公民館外構工事、（仮称）山口地域交流・活性化センター
建設工事（令和3年2月末完成予定）
 - イ 工事等
長岡公民館の1階和室・調理室空調設備等改修工事
天童北部公民館の屋根塗装工事
 - ウ 修繕等
天童南部公民館及び天童中部公民館の和室畳替え等
 - (2) 分館の施設整備・活動の支援等
耐震改修、修繕、備品購入等に対する補助
- 3 社会教育関係団体等の支援等
市連合青壮年会、市連合婦人会、市子ども会育成会連合会、市女性団体連絡協議会等
- 4 幼児と親の交流機会の支援
天童南部、成生、蔵増、高揃、長岡
- 5 放課後子ども教室推進事業
3小学校区で事業実施（残り5小学校区が事業予定）
- 6 青少年健全育成事業
 - (1) 青少年指導センターでの街頭指導の実施
 - (2) 青少年問題協議会の開催について資料送付等で実施
 - (3) 青少年健全育成市民集会の開催 中止
- 7 地域の通い場づくり事業と支援（公民館喫茶等）
天童中部、天童北部、蔵増、寺津、田麦野

《地域づくり委員会活動の推進》

地域住民自らが地域課題を発掘・整理し、自主的な活動を行うなど、地域の特色を生かした活動について、「令和2年度地域づくり委員会の概要」等を取りまとめ、各地域づくり委員会に周知し、情報の共有を行った。

指定文化財を適切に保存するため、現地調査により状況を確認し、管理者や保護団体の保護活動に支援を行うとともに、未指定の文化財や民俗芸能について、研究者などの協力のもと調査・研究を進め文化財の適切な保存や活用を図ります。

また、文化財に関するパンフレットの作成や歴史講座、史跡めぐりの開催などにより文化財を身近に感じてもらい、文化財をとおして郷土への親しみや関心を育みます。

西沼田遺跡公園や旧東村山郡役所資料館などの文化財関連施設については、適切な維持管理を行い、出土した遺物や貴重な郷土資料の展示や公開により本市の歴史に触れる機会を提供するほか、体験学習、企画展の開催や地域活動と連携することにより、地域の活性化を図ります。

《施策》

- 1 文化財の保護、啓発及び活用の推進
 - (1) 文化財保護審議会 7月9日「指定文化財の現状確認について等」
 - (2) ふるさと歴史講座 中止
 - (3) 市民史跡めぐり 中止
- 2 国指定史跡「西沼田遺跡」の維持、管理及び活用
 - (1) 4月4日から5月31日まで臨時休館
 - (2) 復元建物副屋の修復工事
 - (3) 「ニシヌマタックル」 中止
 - (4) 「海より山より西沼田」(8月1～15日) 602人
 - (5) 市外小学校の修学旅行受入れ(9月～11月) 11校、312人
 - (6) 「加茂水族館クラゲ展示」(9月17～22日) 740人
 - (7) 「ヌマリニック古代7種競技」 中止
- 3 文化財の所有者及び保護団体等への支援
ジャガラモガラ、イバラトミヨ生息地等の保護活動の支援
- 4 天童古城の主郭跡発掘調査の実施(10月1日～11月6日)
舞鶴山山頂に建つ愛宕神社西側の平場で遺構、遺物の確認調査及び保存目的の記録作成(10月24日に現地説明会を開催 50人)



誰もが学べる環境を整える

就学支援等の推進

教育総務課

家庭の経済事情にかかわらず、すべての子どもたちが未来に希望を持ち、それぞれの夢に向かって頑張ることができるよう、教育費の負担軽減を図ります。

小・中学生に対しては、学用品費など就学に必要な費用を支援するとともに、多子世帯への支援を継続して行います。

高校生や大学生に対しては、就学の支援を推進するための事業の充実を図ります。

また、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難な状況にあるひとり親家庭の子どもに対して学習支援を進めます。

《施策》

1 扶助費

(1) 準要保護 支給人数 324名 支給額 11,588,976円

(前年比 +17名)

(2) 要保護 支給人数 1名 支給額 660円

(前年比 ±0名)

(3) 特別支援 支給人数 112名 支給額 1,682,333円

(前年比 +14名)

(4) 被災 支給人数 2名 支給は年度末

(前年比 △26名)

2 私立高等学校生徒学費支援事業

補助対象者 10名 (前年比△2名)

3 山形県若者定着奨学金返還支援事業

認定者 14名 (前年比+6名)

4 市奨学基金支援事業

貸付人数 0名 返還者数 12名

5 給食費の第3子以降無料化事業

決定者 小学校 334名 中学校 47名 計 381名

(内、市外通学者 5名 (東桜学館等))

決定額 小学校 15,338千円 中学校 2,365千円

計 17,703千円

(令和元年度より申請者 12名増、補助金額 60千円増)

(令和2年10月末現在)

5

学校の安全・安心を未来につなぐ

学校教育施設の整備

教育総務課

児童・生徒が安心して学べる安全な環境を整備するため、学校施設の安全点検を継続的に実施するとともに、学校施設長寿命化計画に基づき、施設改修を計画的に進めます。

また、情報化社会で生き抜く力の育成を目指したICT環境の整備や、障がいを持ち特別な支援が必要な児童・生徒が安心して学校に通えるよう、学校施設のバリアフリー化を進めます。

《施策》

1 ICT教育環境整備

(1) 教育用コンピュータ整備

- ・ 国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備（2月納期）
- ・ 天童南部小、天童中部小、蔵増小、第三中に電子黒板12台整備

(2) 校内ネットワーク整備

- ・ 1人1台のタブレット端末の整備と合わせ、インターネットの高速通信に対応したネットワーク環境の整備（3月工期）

2 学校施設各種工事等

学校施設長寿命化計画に基づく施設の改修や令和3年度以降計画しているトイレ改修工事に向けた設計等を実施
（詳細は別紙）

持続可能な学校指導体制の整備

学校教育課

今後ますます高度情報化が進む社会において、たくましく生き抜く児童・生徒を育てるために、授業におけるICT機器の積極的かつ効果的な活用を図ります。

また、教職員の「働き方改革」を積極的に推進し、教職員が子どもとじっくり向き合う時間や、授業の準備を十分に行う時間を確保することにより、学校教育の質の向上を目指します。

《施策》

1 教職員の働き方改革推進事業

(1) 部活動指導員の配置（全中学校に1名ずつ）

教職員の勤務時間の軽減、生徒の安全確保及び専門的指導の充実

(2) 校務支援システムの導入

総合型校務支援システムを全校に導入（2月上旬に運用開始予定）

・名簿情報管理、出欠席情報管理、成績処理、指導要録作成、通知表作成、保健管理、学校日誌作成、週案簿・時数管理、校内アンケートなどの事務作業の効率化

・教職員の出退勤管理も可能になる

安全・安心な学校給食の提供

学校給食センター

徹底した衛生管理に努めるとともに、食物アレルギー対応給食を実施し、安全・安心な学校給食を提供します。

また、地産地消の推進を図り、特別献立や地域の食文化、季節の行事給食など工夫を凝らしたメニューを提供し、学校給食の充実に努めます。

さらに、望ましい食習慣を形成し、豊かな心と人間性をはぐくみ、食と健康な体づくりの大切さや地元の農産物、郷土の文化への理解を深めるため、栄養・給食指導などによる食育を推進します。

《施策》

1 衛生管理の徹底

(1) 職員及び学校給食配膳職員の腸内細菌検査の実施 月2回

(2) 衛生管理研修会の開催 8月18日（火）

2 食物アレルギーへの対応

「卵、乳」について食物アレルギー対応給食を提供

卵対応14名、卵・乳対応3名、乳対応2名 計19名

3 望ましい食習慣の形成推進

(1) 栄養教諭、調理師による栄養指導（今年度上半期は新型コロナウイルス感染症対策により実施なし）

(2) プロスポーツ選手とのふれあい給食

モンテディオ山形 9月16日（水） 干布小学校（『Z o o m』による選手とのオンライン交流を実施）

(3) 地域の生産者との交流給食会の実施 6月11日（木） 津山小学校（㈱なごみ農産様からの天童牛寄贈による交流給食会として実施）

(4) 新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援事業『ぎゅっと天童(山形) んまいデー給食』の実施

市農林課からの提供（食材費として） 6月22日（月）、26日（金）、7月3日（金）

県農林水産部からの提供（食材として） 7月8日（水）